

## 第3章 本市の地域福祉の方向性

### 1 基本理念



地域共生社会の実現に向けて、

**「みんなで地域を守り育み 支え合う富谷市」**をつくるピヨ!

第2章の課題1～4を踏まえ、本市では地域共生社会の実現に向け、地域福祉の意識醸成を図り、市民一人ひとりが役割を持ち、地域力の向上や環境の整備を進めるとともに、地域全体で支え合える体制の構築が求められています。

一方、本市では、「住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～」を将来像に、市民・議会・事業所・行政の協働・協力・連携（「つながり」）を図り、富谷市が市民の「誇り」となるよう、SDGs（持続可能な開発目標）\*6の視点を持ちながら「オールとみや」の体制で各種施策を推進しています。

その中でも、保健・医療・福祉・地域コミュニティ分野では、「あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります」「高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります」「身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります」の3つの方向性を掲げ、取り組みを進めています。

本計画では、本市を取り巻く災害・感染症等の社会情勢や地域福祉の課題、様々な施策の動向等を踏まえ、以下の基本理念を掲げ、計画を推進します。

#### 基本理念

**みんなで地域を守り育み  
支え合うまちづくり**



\*6 国際連合で採択された日本を含めた世界共通の目標で、2030年を目標年度として、経済、社会、環境のバランスの取れた持続可能な開発を目指し、「誰一人取り残さない」世界を実現しようとするものです。

## 2 基本目標



富谷市の地域福祉を取り巻く課題の解決と  
基本理念の実現に向けて、**4つの基本目標**に取り組むピヨ！

課題1 地域福祉の推進に向けた意識の醸成

### **基本目標1 ともに学び、ともに活かす**

地域での助け合い・支え合いの推進に向け、講座・学校等における意識啓発や個人の知識・技術を活かせる活躍の場等の機会を通してともに学び、さらに学んだことを活かして、地域福祉を支える人材として、住民一人ひとりが役割を持ち、課題解決に取り組む地域を目指します。

課題2 地域で助け合い・支え合うための地域力の向上

### **基本目標2 地域でつながり、守り育む**

地域共生社会を実現するため、交流の場づくりや地域活動への支援に取り組むとともに、緊急時に備えて日頃からの地域のつながりを強化することにより、地域全体でつながり、地域福祉を推進する地域力の向上を目指します。

課題3 誰もが安心して生活できる環境の整備

### **基本目標3 自分らしく暮らせる地域を築く**

ニーズに応じた支援や生活環境の整備、権利擁護の取り組みを強化し、地域に住むすべての人が必要な時に適切なサービスを利用でき、これからも住み慣れた地域で安心して、自分らしい生活を送ることができる地域づくりを目指します。

課題4 地域・事業所・団体・行政の連携体制の強化

### **基本目標4 地域福祉の輪を広げる**

多様化・複雑化している生活課題の解決に向け、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、福祉関係団体、事業所等と連携し、相談体制や情報共有体制を強化することにより、多分野・多機関による包括的な支援体制の構築を目指します。

### 3 施策の体系

基本理念

施策体系

みんなで地域を守り育み  
支え合うまちづくり

#### 基本目標1 ともに学び、ともに活かす

方向性1 地域福祉への理解促進

重点

方向性2 誰もが自分らしく活躍できる場の充実

方向性3 地域福祉を支える人材の育成

#### 基本目標2 地域でつながり、守り育む

方向性1 交流・つながりの場づくり

重点

方向性2 地域力の向上

方向性3 地域の健康づくりの推進

方向性4 もしもに備えるつながりの強化

#### 基本目標3 自分らしく暮らせる地域を築く

方向性1 多様な福祉ニーズへの対応

重点

方向性2 権利擁護の推進と体制づくり【成年後見制度利用促進基本計画】

方向性3 一人ひとりの状況に応じた支援の展開【生活困窮者自立支援計画】

方向性4 安全・安心に暮らせる環境づくり

方向性5 生きるための包括的支援の体制づくり【自死対策計画】

#### 基本目標4 地域福祉の輪を広げる

方向性1 包括的な相談支援体制の整備

重点

方向性2 地域福祉ネットワークの構築